

## 第13回「健康を考える委員会」開催される

12月15日(月)、弘前パークホテルを会場に第13回「健康を考える委員会」が開催されました。会員21名が参加、演題を「健康を基軸とした地域経済発展モデルの実現」と題し、弘前大学副学長(Well-being戦略担当)・教授村下公一氏をお招きしご講演をいただきました。

村下氏は、世界に類を見ない健康ビックデータを集積する「岩木健康増進プロジェクト」を開発し、20年以上にわたる蓄積データを核に、産学官民連携の拠点として県民の健康寿命延伸や地域活性化につながる研究成果の創出、社会実装を実現して参りました。

この10月からは、研究拠点である「グローバル Well-being 総合研究所」に、Well-being研究の世界的権威である米・ハーバード公衆衛生大学院社会・行動科学学部のイチロー・カワチ教授が最高顧問に就任し、弘前大学が目指す世界トップレベルの研究拠点形成が大きく前進するものと期待されております。

今回の委員会では、地域経済の発展に着目したお話をいただき、他業種においても事業参入のヒントになったものと思います。



講 師 村下 公一 氏

弘前大学 副学長(Well-being 戦略担当)・教授  
グローバル Well-being 総合研究所(IGWS)副所長  
健康未来イノベーション研究機構長(RIHI)